



“ID.”は、このページの名前にもなっていますが、もとはといえば私のセカンドアルバム「DIVE」の1曲目のタイトルに使った言葉でした。

それ以来この言葉が気に入っていて、私のラジオ番組(NACK5で放送中!)のタイトルも“ID.”です。で、『I.D.向上委員会』っていうのは、そのラジオ番組の中でできた言葉なんですけど、なんかよく分かりません。

「番組を向上させよーね」という話をするスタッフと私のことだと思う。というわけで、せっかくこのページも“ID.”なのだから「盛り上げていきましょうね」という同委員会も結成。

私もいろんなことをこのページから皆さんに発信していくので、ぜひこれからも、ちよくちよく覗いてみてください。

さて“ID.”とは“アイデンティティ”のことですが、高校のとき倫理の授業で習ったことがあります。だけどそのころは活字で読んでもなんのことかイマイチわからず、だけどテストに出るくらい大切な言葉だったと思います。そして今、“アイデンティティ”について考える。

私は毎日、大学に通いつつ、仕事をする日々です。小学生も、中学生も、高校生もそうやってきました。だから大変だっという感覚もそれほどありません。逆に忙しいほど宿題もやる気になったりして、良い相互作用になっていると思います。ただ、私が迷っていたとすれば、それはそれぞれの場所での『顔』です。芝居屋としての顔、うたうたいの顔、学生の顔、若い女の顔。どれも私には違いないけど、無意識にそれぞれが少しずつ違う。誰もが一度は考える「本当の自分って何？」っていう問題。

私もそれについて悩んでいました。自分が思っている自分、人から見える自分、なりたい自分、人から期待される自分……。そういうものの中に、ギャップがあると思ったことが私はあります。「私らしくいたい」なんて言っても、何が私らしいということなのか、よくわからない。それなのに人からは、さも私のことをなんでも知っているかのようなことを言われたり。あるとき、詞を書いていた。山中湖でした。夜、外の空気を吸いに出ました。そしてあまりに暗いので、星しか見えませんでした。星はずっと見ていると、どんどん増えていくように見えます。私って小さいなー。空って大きいなー。そんなことで、急にふっきました。そんなもんです。その詞が“ID.”という歌になりました。何が解決したわけでもないです。ただ、どんな自分も全部受け入れられたような気がしました。それが本当の自分かって、結局ほかでもない、今ここにいる私だなーと。そういういろんな自分のあいだに“ID.”を持っているのだと。つまり、今の自分がどんなに情けなくっても、どんなに嫌いでも、それしか本当の自分はいない。

だから、その情けない自分を磨くしかないんですね。というわけで『I.D.向上委員会』は、自分を磨く委員会とも言えます。人がどう思おうが、私は私のために生きたい。

私は私を幸せにしたい。そのために、自分を磨きながら、楽しく生きていきたいです。さて、私は人のことも幸せにしたいと思っていますが、それについてはまたこんどの機会に……。

次はどんなお題が出されるのか、楽しみです。またお会いしましょう。

* maaya *

